

巖垣月洲 いわがき げいしゅう 儒者。文化五年十一月十二日京都生れ、明治八年九月四日歿（六六の六―七三）。諱龜、字六藏。儒者岡田南涯の第六子。父は從學して儒學を修めた。弘化二年京都習學所教授。のち父の師巖垣龍溪の後嗣巖垣松田良後、その塾蓮古堂の塾學となる。塾生三千餘人に及んだといふ。

『月洲遺稿』全二冊（山田親良・杉浦正臣・宮本氏壽校、明治十一年二月京都・巖垣均次郎刊）、『英國征服記』（上田毅一郎、昭和十九年十月）『千代日本報道社』等の他、『十五回忌記念誌』『薦草小録』（明治二十二年十月）『二十一回京都・岩垣均次郎編刊』がある。